

第42回全日本バレーボール小学生大会 京都府大会開催要項

主催	後援	公益財団法人 日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社 公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団／報知新聞社／京都府教育委員会／京都市教育委員会／ 公益財団法人京都府スポーツ協会京都府スポーツ少年団／公益財団法人京都市スポーツ協会京都市スポーツ少年団
協賛	オフィシャルボール主	デサントジャパン株式会社／ゼビオグループ／三井住友信託銀行株式会社／株式会社関電工 株式会社ミカサ／株式会社モルテン 京都府バレーボール協会／京都府小学生バレーボール連盟 第42回全日本バレーボール小学生大会京都府大会実行委員会

- 大会の主旨**
 - (1) 教育的配慮のもとに、バレーボールを通じて全国児童の親睦と交流を図る。
 - (2) バレーボールによる小学生の体力の向上とたくましい意欲の養成に努める。
 - (3) 低年齢から正しいバレーボールの基本技とチームプレーを体得し、楽しいゲームができるよう指導する。
- 開催日程と試合会場**

【支部大会】各支部において2022年4月30日(日)～5月22日(日)の期間に開催される。

【決勝大会】2022年6月4日(土)11日(土) 京都市体育館・京都市市民スポーツ会館体育館

 - ・両日ともに、受付は会場準備の終了後となる。なお各チーム大人1名は会場設営に協力すること。
 - ・受付終了後、両日とも開始式のみを行う。別に、2日目の決勝戦終了後、表彰式・閉会式を行う。
- 参加資格**
 - (1) 2022年4月1日に12歳未満の者で、同年、5月1日現在、国・公・私立の小学校及び各種学校に在籍、あるいは京都府内に在住している者であること。
 - (2) 選手及びベンチスタッフは、公益財団法人日本バレーボール協会加盟団体登録規定に基づき、2022年4月1日以降、京都府大会支部予選参加申込締切日(支部ごとに設定)までに、JVA-MRSの登録を済ませること。尚、スポーツ少年団に加盟しているチームも、同様の手続きを済ませること。
- 参加規定**
 - (1) 全てのカテゴリーにおいて京都府大会への参加チームは、支部(ブロック)大会の結果、支部代表として推薦されたチームであること。女子の支部の代表数は、登録団体数3につき1代表とする。
 - (2) 監督の責任において、選手保護者から大会参加の承諾を得た上で、大会に参加すること。
- チーム編成**
 - (1) 支部大会・決勝大会において、チームは監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする。
 - (2) 監督は成人であること。又、ベンチスタッフのうち1名以上は、日本小学生バレーボール連盟認定指導者・日本バレーボール協会認定準指導員及び公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボール(コーチ1, 2, 3, 4)のいずれかの資格を有した者でなければならない。(但し、2025年度までの時限措置として、公益財団法人日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟共催の全日本小学生バレーボール指導者一次・二次講習会受講者を同様とする) また、証明書等を試合時には胸に下げていなければならない。
 - (3) 監督1名・コーチ1名・マネージャー1名は、二重登録とならない限り支部大会から変更できるが、選手12名は、支部大会と同じ者とする。但し、支部大会に11名以内で出場した場合は、12名に満たない人数のみ補充することができる。また、病気・ケガなどの特別な場合は、主催者が確認の上、交代することを認める。但し、補充・交代は参加資格を満たし、既に申し込まれた同一団体内に登録されている選手に限る。
 - (4) 混合は、日小連の規定(日小連ホームページ参照)通りのカテゴリーへ正式に登録を完了し、チーム編成条件を満たしたチームであること。また、支部予選を含め、選手は違うカテゴリーと重複してエントリーできない。
 - (5) ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓書を提出した者に限る。また、成人のベンチスタッフは、体罰・暴力・暴言・セクシャルハラスメント等、子どもを指導する者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。
 - (6) 他都道府県在住であって、移籍または新規登録した選手はベンチには3分の1以内とする。また、コート上には2名以内とする。監督は試合前に、他都道府県からの登録選手の番号を審判員と確認すること。

※京都府大会に参加する選手はそのまま全国大会に出場することとなるので、チーム編成には十分に注意すること。
選手の補充は(3)(「支部大会」を「京都府大会」と読み替える)に準ずる。
※京都府内のみの規定として、主催者が確認の上、カテゴリー登録が別で活動母体が同一の団体については、どちらかの監督であってもチームスタッフの兼任を認める。但し、監督を兼任することはできない。試合への参加は6人制競技規則に準ずる。
- 競技規則** 2022年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
- 競技方法** 【支部大会】支部ごとに公正な方法による。
【決勝大会】男子、女子、混合の全てで、2日間を通したトーナメント方式にて実施し、最終試合を決勝戦とする。
- 使用球** 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボール
「男子・混合：ミカサボール(V400W-L)／女子：モルテンボール(V4M5000-L)」(円周62～64cm・重量200～220g)を使用する。
※ボールの内気圧については6人制競技規則に準ずる。
- 表彰** 男女各1位から3位まで表彰する。(男女混合は参加チーム数による)
※京都府大会の結果、男女及び男女混合1位チームは、第42回全日本バレーボール小学生大会【2022年8月9日(火)～12日(金)東京・神奈川・埼玉・千葉】への出場する権利と義務が生じる。
- 申込** 各チームは所定の参加申込データ(京都小連ホームページよりダウンロード)を入力し、JVA-MRSチーム加入選手一覧(PDF)と一緒に、電子メールにて5月25日(水)24時【必着】までに大会事務局(下記メールアドレス)へ電子メールで送付のこと。
※締切日以降や他の方法による参加申し込みは、一切受け付けない。
- 参加料** 1チーム 5000円 ※口座振り込みをすること
郵便振替口座【00980-3-140853 京都府小学生バレーボール連盟】
※『大会名』『チーム名』を記入すること
- 代表者会議と抽選会**

5月28日(土)午後7時より、京都アスニー(3階 第2研修室)にて行う。
チーム代表者は必ず出席すること。【感染症対策のため、各チーム1名(大人)のみとする】
やむを得ず欠席する場合は、大会事務局に連絡の上、チームの責任でホームページにて組み合わせ等を確認すること。
- その他**
 - (1) 大会期間中に選手が負傷したとき、応急手当(医師にみせるまでの応急処置)はするが、それ以上の責任は負わない。
 - (2) 各チームはスポーツ傷害保険に必ず加入すること。
 - (3) 選手はチームで統一されたユニホーム(上下)を着用すること。ソックスについても色や長さをそろえること。(極端に短いソックスは使用不可とする)背番号は1～99とするが、1～12番の番号が望ましい。また、ユニフォームの背番号等の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し誰もが見えやすいものにする。また、混合チームのユニフォームは、男女で違うものを着用し、番号が重ならないようにする。ただし、どうしても違うユニフォームが用意できない場合は、男女のいずれかが識別バンドを着用するか、ソックスの色やハチマキなどで区別できるようにすること。
 - (4) 監督、コーチ、マネージャーの服装はチームで統一(監督を基準)され、短パン・Tシャツは不可とする。また、監督、コーチ、マネージャー章を必ず左胸に付け、シャツはズボンの中に入れること。小学生がベンチスタッフとなる場合は、Tシャツ・短パンを認める。
 - (5) 大会運営上、相互審判となるので、今年度変更された点も含め競技規則を熟知した上で、大会に参加すること。合わせて、主副審ができる成人2名が同行すること。
 - (6) 感染防止対策として、各チームで体温計・予備マスク・消毒液・除菌シート・筆記具・電子ホイッスル※・線審フラッグ※を用意して参加すること。(※は大会本部から貸出可能)
- 大会事務局** 審判委員長 富田 博二 【hkys-tomita@tempo.ocn.ne.jp】
(勤務先：京都市立桂徳小学校 TEL 075-381-7037※平日17:00～18:30)※申し込み送付や急ぎではない問い合わせは電子メールで